

# PET/CT 保険適用例について

## PET/CT をお受けできない例

- |                          |            |   |
|--------------------------|------------|---|
| ① 高 CA19-9 血症,高 CEA 血症   | マーカーのみの場合→ | × |
| ② 悪性リンパ腫疑い               | 疑い病名が→     | × |
| ③ 不明熱 熱源検索               | 適応外です→     | × |
| ④ 原発不明癌の疑い               | 疑い病名が→     | × |
| ⑤ 腫瘍形成性膵炎                | 適応外病名です→   | × |
| ⑥ 悪性腫瘍治療効果判定 (悪性リンパ腫を除く) | →          | × |

## PET/CT をお受けできる例

### ① 原発不明癌

高 CA19-9 血症あり。腹部病変が疑われ、高い蓋然性で  
原発不明癌と診断される。CT 上も潜在病変否定できない。  
※原発不明癌の場合：高い蓋然性をもった診断であること。

→○

### ② 肺癌

肺に Spicula を伴う 15mm 大の不整形結節があり、  
形態から腺癌と診断され、病期診断が必要である。病理診断は未確定。

→○

### ③ ○○肉腫,神経芽腫,多発性骨髄腫,膵癌などの悪性病名

→○

### ④ 悪性リンパ腫

不明熱があり、脳造影 MRI にて髄膜の  
造影増強効果があり、髄膜炎も鑑別に挙がるが、  
悪性リンパ腫の浸潤もしくは悪性腫瘍髄膜播種と臨床的に診断した。

→○

### ⑤ 肺癌再発の疑い

肺癌の術後、画像で陰影が出現し、再発が疑われる。

→○

病理診断による確定診断が得られていなくとも、臨床上、高い蓋然性を持って悪性腫瘍と診断され、悪性腫瘍を診断されれば保険適用となるとの厚生労働省の疑義解釈です。